## 意識調査(アンケート)結果 まとめ

感染症危機におけるリスクコミュニケーションに関する研究等業務



2024/3/29

## 意識調査(アンケート)の実施概要

- 調査方法:Webアンケート
- サンプルサイズ:3,039※
  - ※株式会社三菱総合研究所の3万人定点アンケートパネル「生活者市場予測システム(mif)」を利用。サンプルが不足したセルについては、mifパネル以外から追加で回収(mifパネル以外: 238サンプル)。
  - ※本アンケート調査は国内在住者向けの日本語によるインターネット調査であり、日本語の読解に支障がなく、 インターネットを利用可能な方を対象としている点に留意する必要がある。
- 割付:性、年代、地域での均等割り付け
  - ▶ 性別(2)(男性、女性)※ ※【性別:答えたくない】は別途割り付けており、15サンプルを回収
  - ▶年代(7)(10代(16歳以上)、20代、30代、40代、50代・60代・70代(89歳まで)
  - > 地域(8)(北海道、東北、関東、北陸信越·中部、近畿、中国、四国、九州·沖縄)
- 実査実施:12月20日~24日



## アンケート聴取項目一覧

属性設問									
DB1	性別								
DB2	年齢								
DB3	居住都道府県								
DB4	職業								
DB5	業種								
DB6	婚姻状態								
ア感染	症危機に対する認識について								
Q1	感染経験	新型コロナウイルス感染症にかかったことがありますか							
Q1a1	感染した際の症状	新型コロナウィルスに感染した際の症状はどれにあたりますか							
Q2	感染症危機に対する意識の変 化	新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、感染症危機に対する危機 意識は変わりましたか							
Q3	コロナ禍の感染症に関する情報 収集	コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する情報収集をしましたか							
Q4	コロナ禍で重視した情報源	コロナ禍において、自分がどのように行動すべきかなど物事を判断する際に、重視した情 報源はどれですか							
Q5	情報の真偽の確認方法	新型コロナウイルスに関する情報に関して、情報の真偽を調べる際にどのようにして確か めましたか							
Q6	コロナ禍において必要な情報	コロナ禍においてどのような情報が必要だと感じましたか							
Q6a1	必要な情報の充足度	コロナ禍において必要だと感じた情報について、十分に情報を得られましたか							



## アンケート聴取項目一覧(続き)

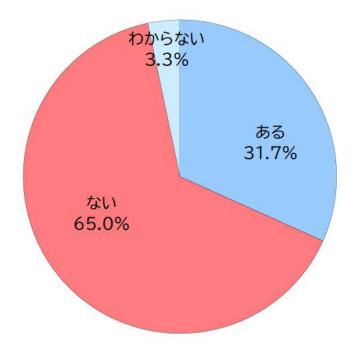
corona.go.jp等からの有用な 情報	コロナ禍において、政府の新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト (corona.go.jp)や新型コロナウイルス等感染症対策推進室のSNSを通じて、以下 の情報を提供していましたが、有用な情報はありましたか
corona.go.jp等で有用な情報 が得られないと感じた理由	有用な情報が得られないと感じた理由はどのようなものでしょうか
コロナ禍における情報収集困難 者	コロナ禍において、あなたの周りに感染症に関する情報収集で困っている人はいまし たか
感染症に関する情報収集で困っ ていたこと	困っている人はどのようなことに困っていましたか
感染症危機への対策等について	
感染症危機認識を深めるために 有効と考える対策	感染症危機に対する認識を深めるためには、どのような対策が有効だと思いますか
内閣感染症危機管理統括庁の認 知度	2023年9月、わが国の感染症危機管理対策の司令塔機能として、内閣感染症危機 管理統括庁が設置されました。あなたは、統括庁について知っていますか
感染症に備えた行動	感染症に備えて、どのようなことをしておこうと思いますか
普段利用している情報媒体	普段、情報収集している情報媒体はどのようなものですか
普段の身近な情報への関わり方	普段の身近な情報への関わり方について教えてください
関する自由な意見	
全体に関する自由な意見	これまでの新型コロナウイルス感染症について、またこれからの感染症危機全体につ いて、ご自由に意見をお書き下さい
	情報  corona.go.jp等で有用な情報が得られないと感じた理由 コロナ禍における情報収集困難 感染症に関する情報収集で困っていたこと 感染症危機への対策等について 感染症危機認識を深めるために 有効と考える対策 内閣感染症危機管理統括庁の認 知度 感染症に備えた行動 普段利用している情報媒体 普段の身近な情報への関わり方 関する自由な意見



## Q1.あなたは、ご自身が新型コロナウイルス感染症にかかったことがありますか (検査陽性も含む)。(SA)

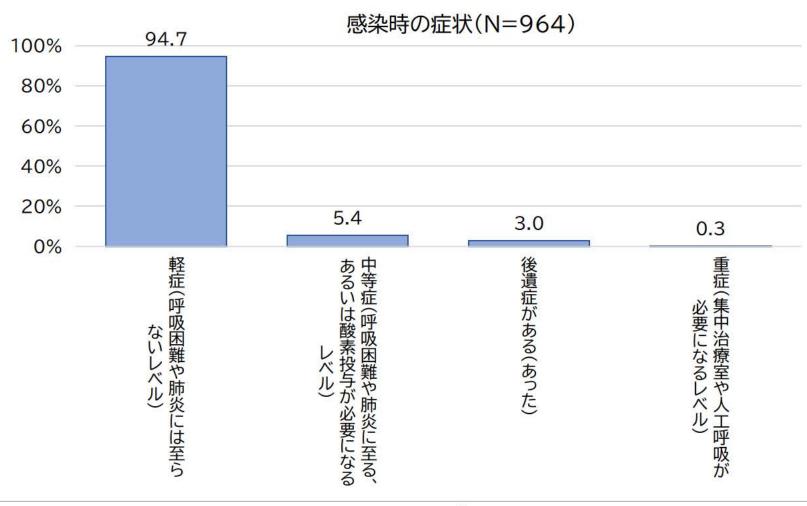
●新型コロナウイルス感染症の感染経験は「ある」が32%、「ない」が65%であった。

新型コロナウイルス感染症の感染経験(N=3039)



## Q1a1.感染時の症状は以下のうちどれにあたりますか。複数かかった方は、あてはまるものすべてを選択して下さい。(MA) Q1 で「ある」と答えた方が回答対象

●感染時の症状は、軽症(呼吸困難や肺炎には至らないレベル)が95%で最も多かった。

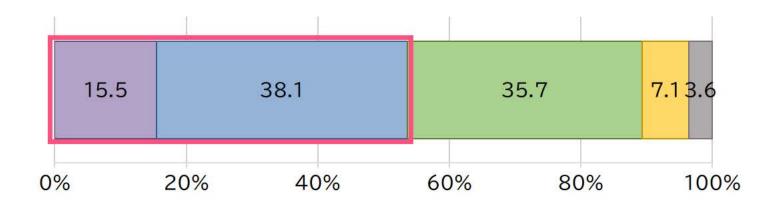




## Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、感染症危機に 対する危機意識は変わりましたか。(SA)

●感染症危機に対する危機意識は、「大いに高まった」と「高まった」の回答を合わせると 約5割となった。

### 感染症危機に対する危機意識(N=3039)



■大いに高まった ■高まった ■変わらない ■低まった ■かなり低まった



## Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、 感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。(SA)

Q6との クロス集計

●新型コロナウイルス感染症の拡大以前に比べて感染症危機に対する危機意識が「大いに高まった」「高まった」と回答した方は、コロナ禍において情報収集のニーズが強い傾向が見受けられたのに対して、「かなり低まった」と回答した方は全体的に低い傾向が見受けられた。

表側

Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あな Q6.コロナ禍においてどのような情報が必要だと感たの、感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。(SA) じましたか。(MA)

	合計	緊宣ん等置ンザ特法く関報急言延重(フ等別に措する)が点型工策置ではある。 いいかけ おいいり おいいり おいいり おいいり おいいり おいいり おいいり おいい	現在の感染状況	各種支援 策	各種相談窓口	基本的な感染対策	無料検査に関する情報	ワクチンに 関する情報	時の対応	多言語で の各種情 報提供	その他
合計	3039	51.3%	58.1%	26.5%	27.4%	40.8%	34.7%	44.9%	41.1%	6.0%	0.7%
大いに高まった	472										0.4%
高まった	1158	54.6%	63.7%	30.4%	31.3%	45.5%	37.5%	49.0%	44.8%	4.5%	0.2%
変わらない	1085	42.0%	47.4%	20.3%	20.5%	32.0%	25.7%	35.6%	31.8%	6.5%	1.2%
低まった	216	50.5%	63.9%	24 5%	25.5%	38 4%	37 5%	491%	43 1%	6.0%	0.0%
かなり低まった	108	31.5%	33.3%	14.8%	13.9%	22.2%	25.9%	32.4%	31.5%	<b>15.7%</b>	3.7%



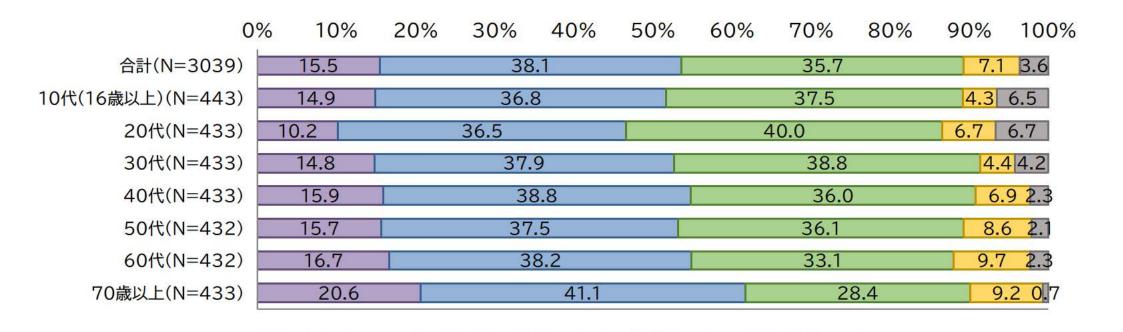
■大いに高まった

■高まった

## Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、 感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。(SA)

年代別内訳

●危機意識が高まった割合(大いに高まった+高まったの合計)は70歳以上で6割程度に対して、20代は5割を下回っていた。



■変わらない □低まった

■かなり低まった



## Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、 感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。(SA)

Q1との クロス集計

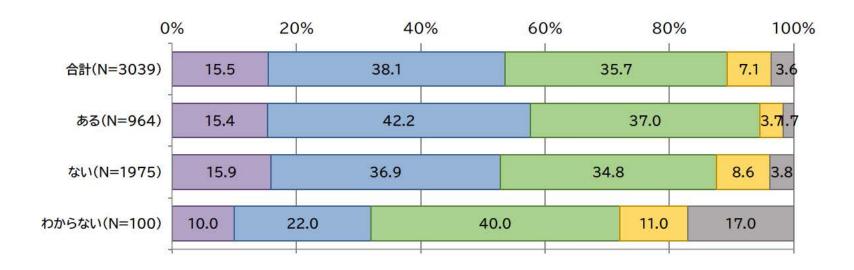
●新型コロナウイルス感染状況(Q1)で「ない」と回答した層は「ある」と回答した層よりも 危機意識が低まった割合(かなり低まった+低まったの合計)が高い。「わからない」と回 答した層は危機意識が低まった割合がさらに高く、関心が低下していることが示唆される。

#### 表側

Q1.あなたは、ご自身が新型コロナウイルス感染症にかかったことがありますか(検査陽性も含む)。(SA)

#### 表頭

Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大 以前に比べて、あなたの、感染症危機に対す る危機意識は変わりましたか。(SA)



■大いに高まった ■高まった ■変わらない ■低まった ■かなり低まった



## Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、 感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。(SA)

Q1aとの クロス集計

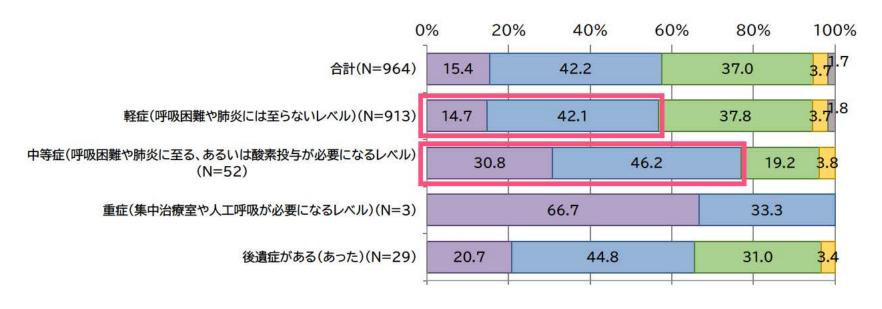
●新型コロナウイルス感染症にかかったことがある人のうち、軽症の方よりも中等症の方の方が危機意識が高まった割合(大いに高まった+高まったの合計)が高い。(重症はN=3のため参考)

#### 表側

Q1a1.Q1 で「ある」と答えた方にうかがいます。 その症状は以下のうちどれにあたりますか。複 数かかった方は、あてはまるものすべてを選択 して下さい。(MA)

#### 表頭

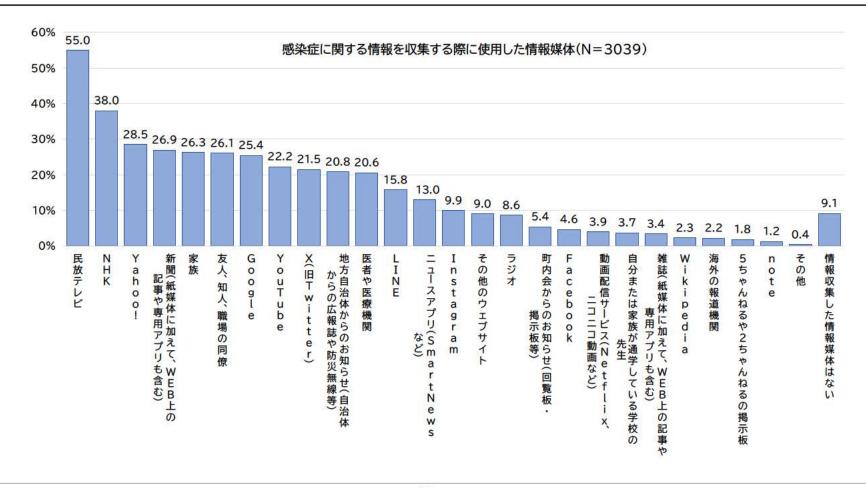
Q2.新型コロナウイルス感染症の感染拡大 以前に比べて、あなたの、感染症危機に対す る危機意識は変わりましたか。(SA)



■大いに高まった ■高まった ■変わらない ■低まった ■かなり低まった

## Q3.コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する情報収集を しましたか。 (MA)

●コロナ禍における感染症に関する情報を収集する際に使用した情報媒体として多いものは、「民放テレビ」(55%)、次いで「NHK」(38%)、「Yahoo!」(29%)、「新聞」(27%)、「家族」(26%)の順であった。





## Q3.コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する情報収集をしましたか。(MA)

性別内訳

●コロナ禍における感染症に関する情報収集で、男性の方が女性よりも活用していた割合が高い媒体として、「YouTube」」「NHK」などがあげられる。一方、女性の方が活用していた割合が高い媒体として、「家族」「友人、知人、職場の同僚」などがあげられる。

	合計		X(旧 Twit		100	YouTube	Facebook	Ir	nstagram	LINE		note	)	Yaho	o!
合計		3024		21.5	%	22.3%	4.7%		10.0%		15.8%		1.2%		28.6%
男性		1512		22.2	%	29.0%	6.5%		9.7%		17.7%		1.0%		31.5%
女性		1512		20.8	%	15.5%	2.8%		10.2%		14.0%		1.4%		25.7%
	合計		Goo	gle		動画配信サー ビス (Netflix、ニ コニコ動画な ど)	5ちゃんねる や2ちゃんね るの掲示板	(	ニュースアプリ SmartNew など)	Wikip	edia	そのイブサイ	也のウェ イト	NHK	
合計	ľ	3024		25.5	%	3.9%	1.8%		13.0%	1	2.3%		9.1%	0.10	38.1%
男性		1512		29.0		6.2%	2.5%		15.3%	1	3.2%		10.0%		42.1%
女性		1512		21.9			1.1%		10.7%		1.5%		8.1%		34.1%
	合計		民放力	テレビ		ラジオ	新聞(紙媒体 に加えて、 WEB上の記事 や専用アプリ も含む)	コメケ	専用アプリ 合合む)	海外の 関	報道機	らのは	誌や防災	お知ら	からの せ(回覧 示板等)
合計		3024		55.1					3.3%		2.1%		20.8%		5.4%
男性		1512		53.3	%				4.5%		2.8%		20.7%		5.3%
女性		1512		56.9					2.2%		1.5%		21.0%		5.6%
	合計		家族			友人、知人、職 場の同僚		医関	医者や医療機 関	その他			収集した 媒体はな		
合計		3024		26.3		26.1%			20.7%		0.4%		8.9%		
男性		1512		21.9	%	23.5%	2.6%		19.3%		0.2%		9.6%		
女性		1512		30.7	%	28.8%	4.8%		22.0%		0.5%		8.3%		

### Q3.コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する 情報収集をしましたか。(MA)

年代別内訳

●コロナ禍における感染症に関する情報収集で、「NHK」「民放テレビ」「新聞」などは年齢が高いほど活用している割合が高い。一方「X(旧Twitter)」「YouTube」「Instagram」などについては、若いほど活用している割合が高い。また「情報収集した情報媒体はない」も若年層が多い。70代では、「医者や医療機関」、「地方自治体からのお知らせ」も重要な情報源となっていた。

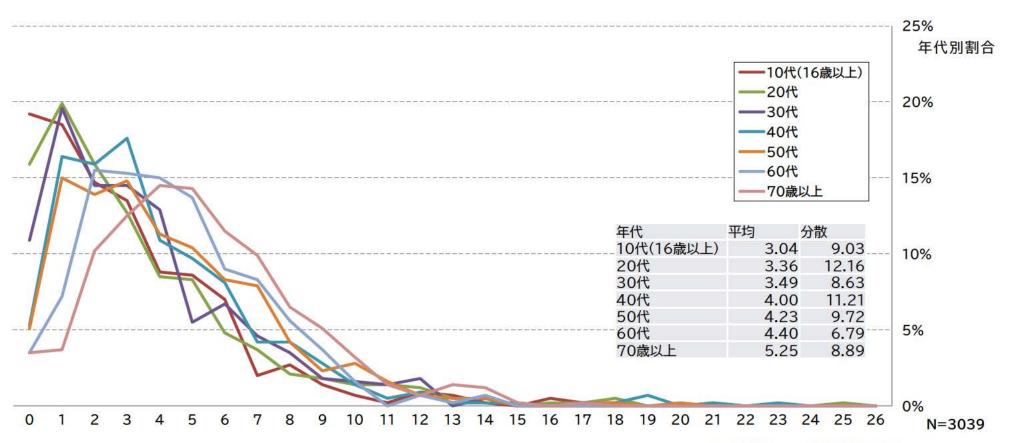
	合計	X(旧Twitter)	YouTube	Facebook	Instagram	LINE	note	Yahoo!	Google		5ちゃんねるや 2ちゃんねるの 掲示板
合計	3039	21.5%	22.2%	4.6%	9.9%	15.8%	1.2%	28.5%	25.4%	3.9%	1.8%
10代(16歳以上)	443			1.6%		22.3%		12.2%			
20代	433		32.6%	6.9%	22.9%	21.9%				9.2%	
30代	433		25.4%	6.5%	11.1%	14.8%	1.4%	27.9%	26.6%	3.0%	3.5%
40代	433	23.1%	22,2%	5.8%	7.6%	13.6%	1.2%	37.4%	28.9%	3.9%	3.7%
50代	432	13.7%	17.8%	4.2%	6.0%	13.2%	1.6%	36.1%	25.9%	2.1%	1.2%
60代	432	7.4%	13.4%	2.8%	2.3%	10.9%	0.5%	35.4%	22.7%	1.6%	1.4%
70歳以上	433			7.070	1.4%	13.9%					
	合計	ニュースアプリ (SmartNews など)		その他のウェブ サイト	NHK	民放テレビ	ラジオ	新聞(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)	雑誌(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)	海外の報道機 関	地方自治体からのお知らせ (自治体からの 広報誌や防災 無線等)
合計	3039	13.0%	2.3%	9.0%	38.0%	55.0%	8.6%	26.9%	3.4%	2.2%	20.8%
10代(16歳以上)	443	5.2%	2.5%	4.1%	17.2%	36.6%	2.9%	8.8%	0.5%	1.1%	5.9%
20代	433			5.1%	15.7%	32.1%	4.6%	8.8%	2.8%		
30代	433			9.9%	23.3%	49.2%	4.8%		2.8%	1.6%	
40代	433			14.3%	34.4%					3.2%	
50代	432		1.4%	13.0%	42.8%	67.1%	11.1%			1.6%	22.9%
60代	432		1.2%	9.5%	59.7%		13.2%	44.2%	4.2%	2.3%	
70歳以上	433			7.6%	73.4%					4.6%	44 3%
	合計	町内会からの お知らせ(回覧 板・掲示板等)	家族	友人、知人、職場の同僚	自分または家 族が通学してい る学校の先生	医者や医療機関	その他	情報収集した情 報媒体はない			
合計	3039			26.1%		20.6%	0.4%				
10代(16歳以上)	443			18.7%	12.0%	8.8%	0.7%				
20代	433			22.6%	6.2%	13.2%	0.5%				
30代	433	3.0%		24.7%	2.1%	17.19	0.2%	10.9%			
40代	433			27.3%		17.19	0.7%				
50代	432		28.7%	31.7%		22.29	0.2%	5.1%			
60代	432			28.7%		24.5%	0.2%				
70歳以上	433	15.0%	33.0%	28.9%	1.2%	41.69	0.0%	3.5%	No.		



## Q3.コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する情報収集をしましたか。(MA):回答した選択肢数

年代別内訳

●コロナ禍における感染症に関して情報収集した情報媒体の数は、年齢が高くなるほど増える。高年層ほど、複数の情報媒体から情報収集していることが分かる。



情報収集した情報媒体の数

### Q3.コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する 情報収集をしましたか。(MA):回答のパターン分析

- Q3の回答結果について因子分析注1を行うと、回答傾向に共通性がある選択肢(情報媒体)のグ ループとして次の6グループが抽出される。
- 各グループの選択肢の何れかを回答している割合と、各グループの選択肢の何れかを回答しその 他のグループは回答していない回答の割合を示す。

回答割合31.0% (これのみ6.8%)

(これのみ13.4%)

回答割合63.4%

家族·知人系

回答割合35.2%

(これのみ1.8%)

·地方自治体

·町内会

・医者や医療機関

回答割合32.6%

(これのみ1.3%)

機関系

·海外報道機関

回答割合9.8% (これのみ0.1%)

> 検索サイト系 ネット系

> > ·Yahoo!

回答割合40.4%

(これのみ3.2%)

Google

#### SNS系

Youtube

Facebook

·Instagram

·LINE

テレビ・新聞系

·NHK

・民放テレビ

·新聞(web含む)

・家族

·友人、知人、職場 同僚

・学校の先生

note

・動画配信サービス

・5ちゃんねる等の 掲示板

·Wikipedia

·雑誌(web含む)

※共通性が低いX(旧Twitter)、ニュースアプリ、その他のウェブサイト、ラジオは除いている

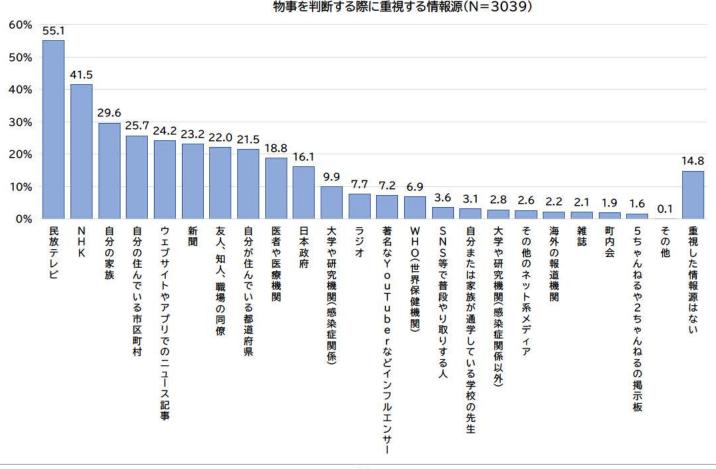
● SNS系とテレビ・新聞系のグループはそのグループ内の選択肢しか選択していないものが、それ ぞれのグループで2割程度を占めるため、情報提供や広報の観点で、情報媒体をどちらかに限る と訴求できないセグメントが出来てしまう点に留意が必要である。

注1:因子分析は変数(選択肢)間の関連性に注目し、その背後にある共通因子を見つけ出す手法。今回は因子の推定=最尤法、プロマッ クス回転を用い、各因子の因子負荷量が0.3以上となる選択肢をグループ化した。



### Q4.コロナ禍において、自分がどのように行動すべきかなど物事を判断する際に、 重視した情報源はどれですか。(MA)

●物事を判断する際に重視した情報源は多い順に、「民放テレビ」(55%)、次いで「NHK」 (42%)、「自分の家族」(30%)、「自分の住んでいる市町村」(26%)、「ウェブサイトやアプリでのニュース記事」(24%)、「新聞」(23%)であった。



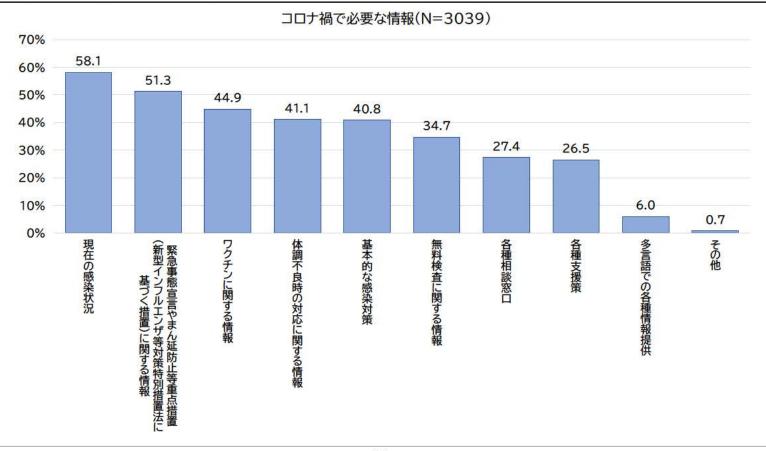
## Q5.新型コロナウイルスに関する情報に関して、情報の真偽を調べる際にどのようにして確かめましたか。(MA)

●情報の真偽を調べる方法は、多い順に「テレビ放送局による報道を確認した」(39%)、「政府(内閣官房・厚生労働省・地方自治体等)による情報を確認した」(30%)、「検索サービス(Googleなど)を利用して検索し、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた」(27%)、「新聞社による報道を確認した」(27%)、「家族・知人・同僚などに聞いた」(16%)の順であった。一方で、「特に情報の真偽は確かめなかった」とする回答は30%であった。



### Q6.コロナ禍においてどのような情報が必要だと感じましたか。(MA)

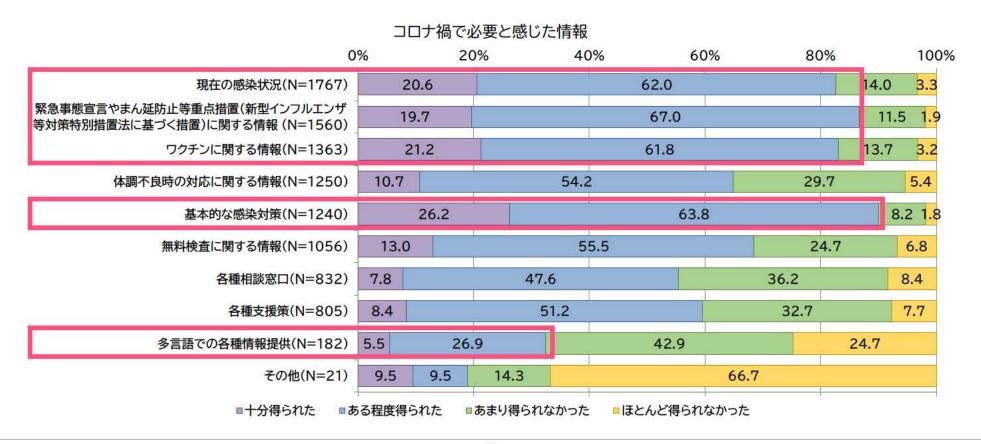
●コロナ禍で必要だと感じた情報は多い順に、「現在の感染状況」(58%)、「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置(新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置)に関する情報」(51%)、「ワクチンに関する情報」(45%)、「体調不良時の対策に関する情報」(41%)、「基本的な感染対策」(41%)の順であった。





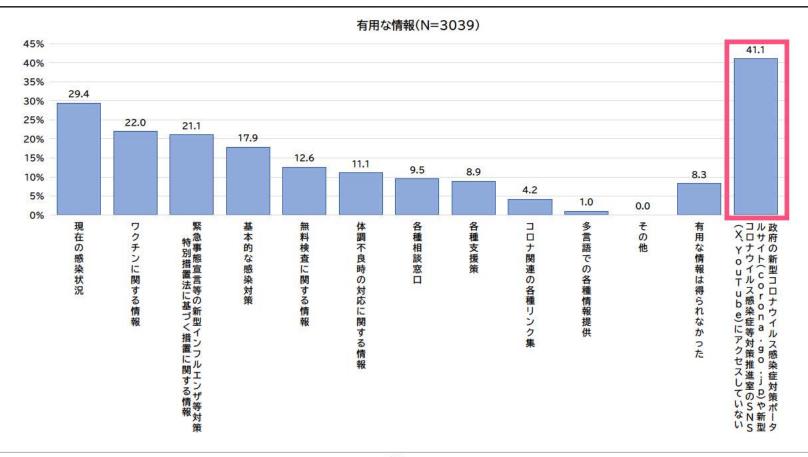
# Q6a1.コロナ禍において必要だと感じた情報について、十分に情報を得られましたか。(SA)

●コロナ禍で必要と感じた情報は、「十分得られた」「ある程度得られた」で8割を超えているものは、「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置(新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置)に関する情報」、「現在の感染状況」、「基本的な感染対策」、「ワクチンに関する情報」の4つである。一方で「多言語での各種情報提供」は3割程度であった。



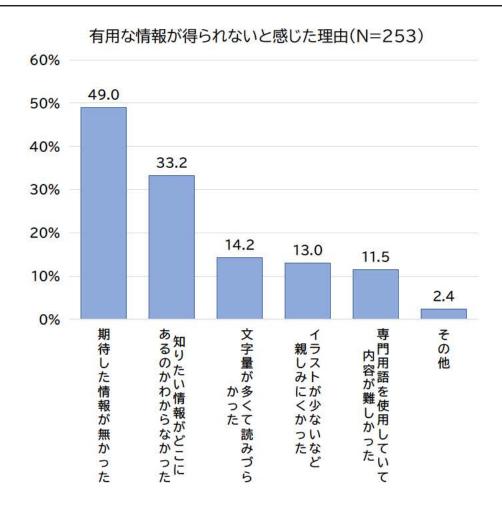


- (2)調査結果 ア 感染症危機に対する意識について
- Q7.コロナ禍において、政府の新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト(corona.go.jp)や新型コロナウイルス感染症等対策推進室のSNSを通じて、以下の情報を提供していましたが、有用な情報はありましたか。(MA)
- ●政府(コロナ室)のサイト及びSNSからの有用な情報は多い順に、「現在の感染状況」(29%)、「ワクチンに関する情報」(22%)、「緊急事態宣言等の新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置に関する情報」(21%)、「基本的な感染対策」(18%)の順であった。一方で、サイト及びSNSにアクセスしていないとする回答は、約4割であった。



### Q8.有用な情報が得られないと感じた理由はどのようなものでしょうか。(MA)

●有用な情報が得られないと感じた理由は、「期待した情報が無かった」(49%)、「知りたい情報がどこにあるのかわからなかった」(33%)の順であった。





## Q8.有用な情報が得られないと感じた理由はどのようなものでしょうか。(MA)

年代別内訳

●有用な情報が得られないと感じた理由は、「期待した情報が無かった」が全体の約5割で最も多く、中でも30代、50代が多かった。また、「知りたい情報がどこにあるのかわからなかった」が40代、70歳以上で多く、「イラストが少ないなど親しみにくかった」は若年層に多く見られた。

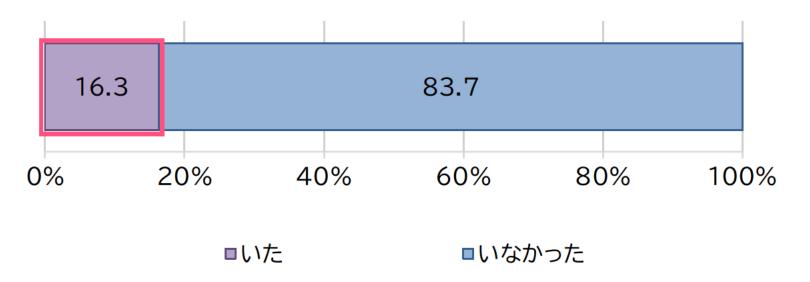
	合計	期待した情報が 無かった	知りたい情報 がどこにあるの かわからなかっ た	読みづらかった	専門用語を使 用していて内容 が難しかった	イラストが少な いなど親しみに くかった	その他
合計	253	49.0%	33.2%	14.2%	11.5%	13.0%	2.4%
10代(16歳以上)	43	37.2%	20.9%	18.6%			0.0%
20代	34	29.4%		17.6%	11.8%		5.9%
30代	28	67.9%	32.1%		3.6%		
40代	39	35.9%		7.7%	5.1%		5.1%
50代	35	74.3%	28.6%	11.4%	11.4%	0.0%	2.9%
60代	38	52.6%				5.3%	0.0%
70歳以上	36	52.8%	52.8%	13.9%	19.4%	2.8%	2.8%



### Q9.コロナ禍において、あなたの周りで感染症に関する情報収集で困っている人 はいましたか。(SA)

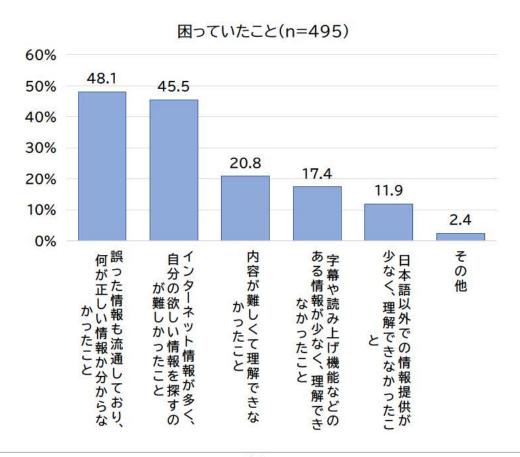
●感染症に関する情報収集で困っている人はいたかの質問に対して、困っている人は「いた」とする回答は約2割いた。

### 感染症に関する情報収集で困っている人(N=3039)



### Q10.困っている人はどのようなことに困っていましたか。(MA)

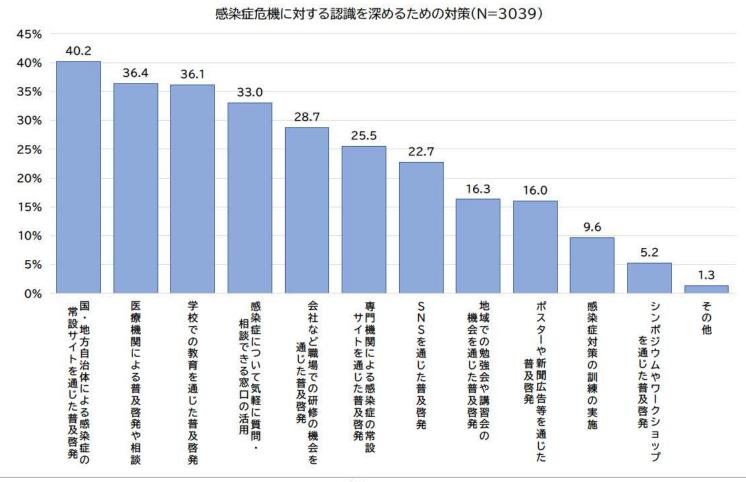
●感染症に関する情報収集で困っていた内容については、「誤った情報も流通しており、何が正しい情報か分からなかったこと」(48%)、「インターネット情報が多く、自分の欲しい情報を探すのが難しかったこと」(46%)が共に高く、次いで「内容が難しくて理解できなかったこと」(21%)であった。





## Q11.感染症危機に対する認識を深めるためには、どのような対策が有効だと思いますか。 (MA)

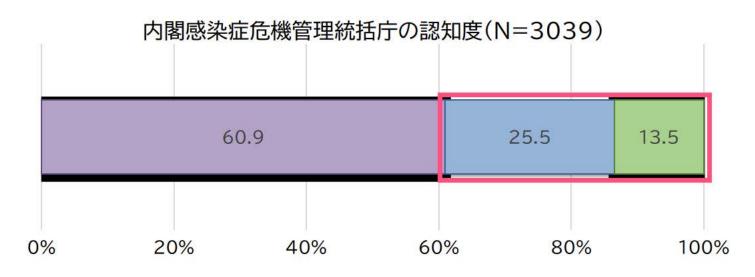
●感染症危機に対する認識を深めるための対策としては、「国・地方自治体による感染症の常設サイトを通じた普及啓発」(40%)、「医療機関による普及啓発や相談」(36%)、「学校での教育を通じた普及啓発」(36%)の順であった。





## Q12.2023年9月、わが国の感染症危機管理対策の司令塔機能として、内閣感染症危機管理統括庁が設置されました。あなたは、統括庁について知っていますか。(SA)

●内閣感染症危機管理統括庁の認知度は「知っている」(名前は知っている+名前を知っていて、司令塔機能を果たす役割も知っている)が約4割、「初めて聞いた」が約6割であった。

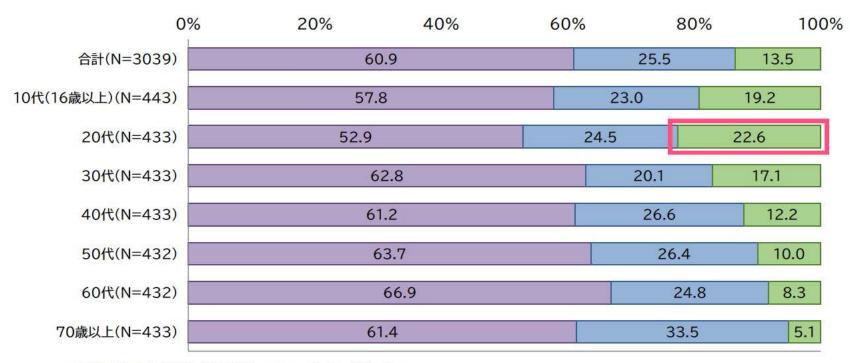


- ■内閣感染症危機管理統括庁について、初めて聞いた
- ■内閣感染症危機管理統括庁について、名前は知っている
- ■内閣感染症危機管理統括庁について、名前を知っていて、感染症危機管理対策の司令塔機能を果たす役割を担っていることも知っている

## Q12.2023年9月、わが国の感染症危機管理対策の司令塔機能として、内閣感染症危機管理統括庁が設置されました。あなたは、統括庁について知っていますか。(SA)

年代別内訳

●内閣感染症危機管理統括庁について「名前を知っていて、感染症危機管理対策の司令塔機能を果たす役割を担っていることも知っている」割合は若年層の方が高い傾向にあり、20代が23%と最も高い。

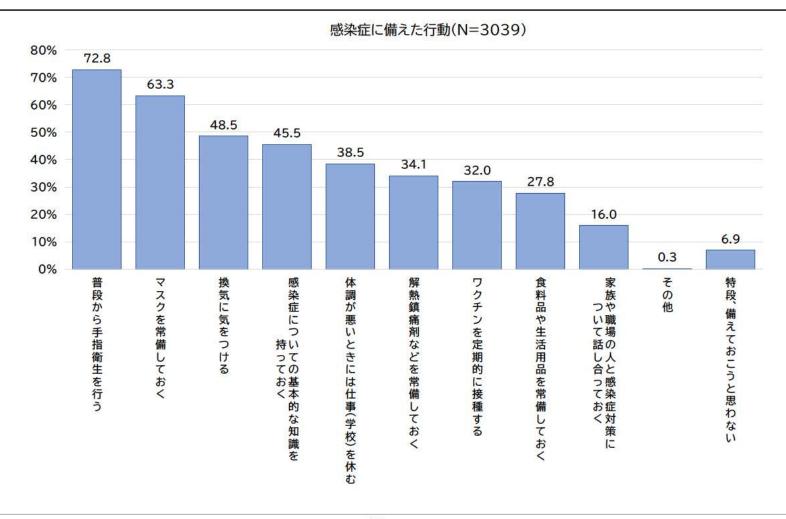


- ■内閣感染症危機管理統括庁について、初めて聞いた
- ■内閣感染症危機管理統括庁について、名前は知っている
- ■内閣感染症危機管理統括庁について、名前を知っていて、感染症危機管理対策の司令塔機能を果たす役割を担っていることも知っている



## Q13.あなた自身は、感染症に備えて、どのようなことをしておこうと思いますか。 (MA)

●感染症に備えた行動は、「普段から手指衛生を行う」(73%)、「マスクを常備しておく」 (63%)と多く、次いで「換気に気をつける」(49%)の順であった。



## Q13.あなた自身は、感染症に備えて、どのようなことをしておこうと 思いますか。(MA)

年代別内訳

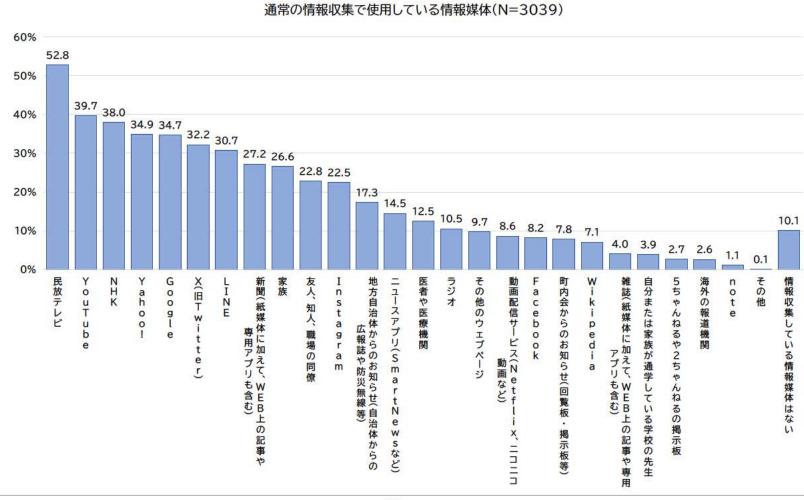
●感染症に備えてしておこうと思うものは、「換気に気をつける」「感染症についての基本的な知識を持っておく」「ワクチンを定期的に接種する」「マスクを常備しておく」「解熱鎮痛剤などを常備しておく」「食料品や生活用品を常備しておく」の各項目で年齢が高いほど割合が高く傾向がある。一方、全体の約7%(10代20代に限ると約15%)は、特段備えておこうと思わないと回答している

	合計		普段から手指 衛生を行う	換気に気をつ ける			ワクチンを定期 的に接種する	家族や職場の 人と感染症対 策について話し 合っておく
合計		3039	72.8%	48.5%	45.5%	38.5%	32.0%	16.0%
10代(16歳以上)		443	62.3%	41.1%	32.3%	37.5%		
20代		433	58.2%	40.2%		35.1%	17.8%	
30代		433	70.0%	47.1%		42.5%	19.2%	
40代		433	74.6%	55.0%		43.6%	22.2%	
50代	£.	432	76.2%			42.4%	31.0%	
60代		432	82.2%	52.3%		38.4%	45.6%	
70歳以上		433	86.4%	57.5%		30.0%		23.3%
	合計		マスクを常備し <sup>®</sup> ておく	解熱鎮痛剤な どを常備してお く	食料品や生活 用品を常備して おく	その他	特段、備えてお こうと思わない	
	10							ļ
合計		3039	63.3%			0.3%		
合計 10代(16歳以上)		3039 443	63.3% 42.4%					
10代(16歳以上) 20代		443 433	42.4% 46.7%	15.1% 23.6%	13.5% 18.7%	0.0% 0.2%	15.1% 13.6%	
10代(16歳以上) 20代 30代		443 433 433	42.4% 46.7% 55.7%	15.1% 23.6% 34.2%	13.5% 18.7% 29.1%	0.0% 0.2% 0.2%	15.1% 13.6% 8.1%	
10代(16歳以上) 20代 30代 40代		443 433 433 433	42.4% 46.7% 55.7% 64.0%	15.1% 23.6% 34.2% 37.2%	13.5% 18.7% 29.1% 32.8%	0.0% 0.2% 0.2% 0.5%	15.1% 13.6% 8.1% 2.8%	
10代(16歳以上) 20代 30代 40代 50代		443 433 433 433 432	42.4% 46.7% 55.7% 64.0% 69.4%	15.1% 23.6% 34.2% 37.2% 40.7%	13.5% 18.7% 29.1% 32.8% 30.1%	0.0% 0.2% 0.2% 0.5% 0.5%	15.1% 13.6% 8.1% 2.8% 4.4%	
10代(16歳以上) 20代 30代 40代		443 433 433 433	42.4% 46.7% 55.7% 64.0%	15.1% 23.6% 34.2% 37.2%	13.5% 18.7% 29.1% 32.8%	0.0% 0.2% 0.2% 0.5% 0.5%	15.1% 13.6% 8.1% 2.8% 4.4% 2.1%	



## Q14.感染症に限らず、通常の情報収集に関する質問です。普段、週に1回以上 (※)情報収集している情報媒体はどのようなものですか。(MA)

●通常の情報収集で使用している情報媒体は「民放テレビ」(58%)、次いで「YouTube」(40%)、「NHK」(38%)の順であった。



### Q14.感染症に限らず、通常の情報収集に関する質問です。普段、 週に1回以上(※)情報収集している情報媒体はどのようなものですか。(MA)

Q3との比較

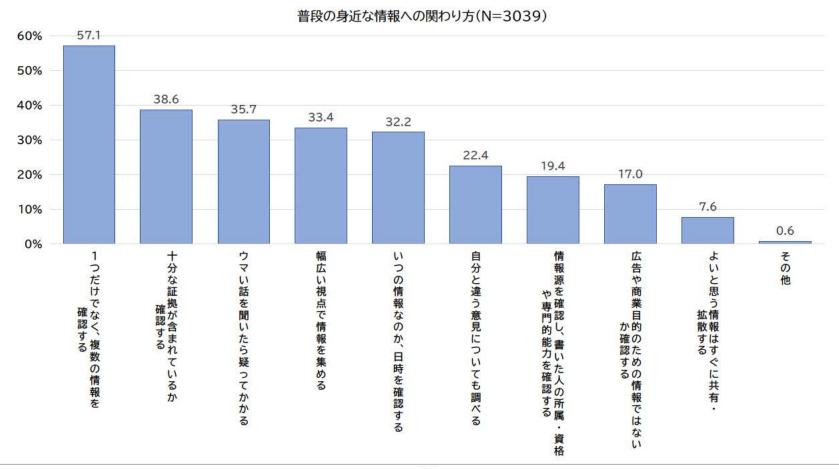
●コロナ禍に情報収集した情報媒体(Q3)と通常利用している情報媒体(Q14)の差分を見ると、通常時に多いものはYouTube、LINE等で、コロナ禍に多いものは医者や医療機関、地方自治体からのお知らせ等であった。

情報媒体	Q3コロナ禍(%)	Q14通常時(%)	差分(%)
民放テレビ	55.0	52.8	2.2
NHK	38.0	38.0	0.0
Yahoo!	28.5	34.9	6.4
新聞(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)	26.9	27.2	-0.3
家族	26.3	26.6	-0.3
友人、知人、職場の同僚	26.1	22.8	3.3
Google	25.4	34.7	-9.3
YouTube	22.2	39.7	7.5
X(旧Twitter)	21.5	32.2	- 0.7
地方自治体からのお知らせ(自治体からの広報誌や防災無線等)	20.8	17.3	3.5
医者や医療機関	20.6	12.5	8.1
LINE	15.8	30.7	4.9
ニュースアプリ(SmartNewsなど)	13.0	14.5	-1.5
Instagram	9.9	22.5	2.6
その他のウェブサイト	9.0	9.7	-0.7
ラジオ	8.6	10.5	-1.9
町内会からのお知らせ(回覧板・掲示板等)	5.4	7.8	-2.4
Facebook	4.6	8.2	3.6
動画配信サービス(Netflix、ニコニコ動画など)	3.9	8.6	4.7
自分または家族が通学している学校の先生	3.7	3.9	0.2
雑誌(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)	3.4	4.0	0.6
Wikipedia	2.3	7.1	4.8
海外の報道機関	2.2	2.6	-0.4
5ちゃんねるや2ちゃんねるの掲示板	1.8	2.7	-0.9
note	1.2	1.1	0.1
その他	0.4	0.1	0.3
情報収集した情報媒体はない	9.1	10.1	-1.0



## Q15.普段の身近な情報への関わり方について、あてはまるものを教えてください。 (MA)

●普段の身近な情報への関わり方は、「1つだけでなく、複数の情報を確認する」(57%)、次いで、「十分な証拠が含まれているか確認する」(39%)、「ウマい話を聞いたら疑ってかかる」(36%)の順であった。





#### (2)調査結果 ウ 全体に関する自由な意見

## Q16.最後に、これまでの新型コロナウイルス感染症について、またこれからの感染症危機全体について、ご自由に意見をお書き下さい。

●Q16の自由記述の回答(1936件※)を分類し集計した結果は以下になる。「感染症対策についての意見や要望」が最も多く485件、次いで「情報関連」(393件)、「感染症に対する意識・感想」(367件)の順であった。※特になし等の回答は除く。複数の分類に該当する回答も含まれている。

<b>分類1</b>	分類2	回答数		回答割合(%)		平均回答文字数
感染症対策についての意見や	政府の対策への意見・要望	268	485	13.8	25.1	43文字
要望 	個人の対策の意見や心がけ	217		11.2		32文字
情報関連	_		393		20.3	37文字
感染症に対する意識・感想	自己について	336	367	17.4	19.0	29文字
	他者について	31		1.6		32文字
マスクについて	_		202		10.4	39文字
感染症に対する考え	ネガティブ	157	200	8.1	10.3	22文字
	ポジティブ	43		2.2		27文字
ワクチン・特効薬について	_		165		8.5	36文字
コロナウイルス対応についての	不十分	91	133	4.7	6.9	46文字
評価 	過剰	42		2.2		27文字
その他	_		152		7.9	18文字



## 参考資料:調査票

DB1.

あなたの性別をお知らせください。

(ひとつだけ)【必須】

- 男性
- 〇 女性
- 答えたくない

DB2.

あなたの年齢をお知らせください。

【必須】

DB3.

あなたのお住まいをお知らせください。

(ひとつだけ)【必須】

(回答を選択してください) 🗸



## 参考資料:調査票

#### DB4.

あなたの職業をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- 生徒・学生
- 専業主婦/主夫
- 会社員
- 契約社員
- 派遣社員
- 会社役員
- 公務員(教職員を除く)
- 教職員
- 医療関係者 (病院経営・開業医含む)
- 会社経営
- 自営業
- パート・アルバイト
- 無職
- その他



#### DB5.

あなたの業種をお知らせください。

(ひとつだけ) 【必須】

- 農業、林業
- 漁業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業・郵便業
- 卸売業・小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業 (他に分類されないもの)
- 公務(他に分類されるものを除く)
- 分類不能の産業



DB6.

あなたは結婚していますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 〇 未婚
- 結婚している
- 離婚し、現在は独身
- 死別し、現在は独身

最初に、新型コロナウイルス感染症に関してのご経験等について伺います。

Q1.

あなたは、ご自身が新型コロナウイルス感染症にかかったことがありますか(検査陽性も含む)。

(ひとつだけ) 【必須】

- ある
- ない
- わからない



#### Q1a1.

Q1 で「ある」と答えた方にうかがいます。

その症状は以下のうちどれにあたりますか。複数かかった方は、あてはまるものすべてを選択して下さい。

(いくつでも)【必須】

」 蛭症(呼吸困難や肺炎には至らないレヘル	<ul><li>軽症</li></ul>	(呼吸困難や肺炎には至らないレベル
-----------------------	----------------------	-------------------

□ 中等症(呼吸困難や肺炎に至る、あるいは酸素投与が必要になるレベル)

□ 重症(集中治療室や人工呼吸が必要になるレベル)

後遺症がある(あった)

Q2.

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前に比べて、あなたの、感染症危機に対する危機意識は変わりましたか。

(ひとつだけ)【必須】

- 大いに高まった
- 高まった
- 変わらない
- 低まった
- かなり低まった



Q3. コロナ禍において、どのような情報媒体を通して感染症に関する	情報収集をしましたか。
(いくつでも)【必須】	
☐ X(I⊟Twitter)	□ NHK
☐ YouTube	□ 民放テレビ
Facebook	□ ラジオ
□ Instagram	□ 新聞(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)
LINE	□ 雑誌(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)
	□海外の報道機関
note	□ 地方自治体からのお知らせ(自治体からの広報誌や防災無線等)
☐ Yahoo!	□ 町内会からのお知らせ(回覧板・掲示板等)
Google	□家族
□ 動画配信サービス(Netflix、二コ二コ動画など)	□ 友人、知人、職場の同僚
□ 5ちゃんねるや2ちゃんねるの掲示板	□ 自分または家族が通学している学校の先生
□ ニュースアプリ(SmartNewsなど)	□ 医者や医療機関
☐ Wikipedia	□その他
□ その他のウェブサイト	□ 情報収集した情報媒体はない



Q4. コロナ禍において、自分がどのように行動すべきかなる か。	ど物事を判断する際に、重視した情報源はどれです				
(いくつでも) 【必須】					
[マスメディア]	【専門家や専門機関】				
□ NHK	<ul><li>□ 大学や研究機関(感染症関係)</li><li>□ 大学や研究機関(感染症関係以外)</li><li>□ WHO(世界保健機関)</li><li>□ 医者や医療機関</li></ul>				
□ 民放テレビ					
□ ラジオ					
□ 新聞					
□ 雑誌	【官公庁、自治体】				
一 海外の報道機関					
【ネットメディア】	□ 自分が住んでいる都道府県				
□ 著名なYouTuberなどインフルエンサー	□ 自分の住んでいる市区町村				
□ ウェブサイトやアプリでのニュース記事					
□ SNS等で普段やり取りする人	□町内会				
□ 5ちゃんねるや2ちゃんねるの掲示板	【人、知人】				
□ その他のネット系メディア	□ 自分の家族				
	□ 友人、知人、職場の同僚				
	□ 自分または家族が通学している学校の先生				
	□その他				
	□ 重視した情報源はない				



Q5.

新型コロナウイルスに関する情報に関して、情報の真偽を調べる際にどのようにして確かめましたか。

(いくつでも)【必須】
□ 政府(内閣官房・厚生労働省・地方自治体等)による情報を確認した
□ 世界保健機関(WHO)や専門機関による情報を確認した
□ テレビ放送局による報道を確認した
□ 新聞社による報道を確認した
□ 検索サービス(Googleなど)を利用して検索し、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた
□ SNS内で検索して、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた
□ 情報の発信者が信頼できる人物なのかを確認した
□ 1次ソース(情報が引用・抜粋されている場合や伝聞の場合に、その情報が最初に投稿された際(オリジナルの情
報)はどのように書かれているか)を調べた
□ 質問系ネットサービス(Yahoo!知恵袋など)で聞いた
□ ファクトチェックの結果を確認した(※ファクトチェック:偽情報に対抗するために、情報の真偽を検証する活動の
こと)
□ 書籍・新聞等で調べた
□ 家族・知人・同僚などに聞いた
□その他
□ 特に情報の真偽は確かめなかった



Q6. コロナ禍においてどのような情報が必要だと感じましたか。
(いくつでも)【必須】
□ 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置(新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置)に関する情報
□現在の感染状況
□ 各種支援策
□ 各種相談窓口
□ 基本的な感染対策
□ 無料検査に関する情報
□ ワクチンに関する情報
□ 体調不良時の対応に関する情報
□ 多言語での各種情報提供
□ その他



#### Q6a1.

コロナ禍において必要だと感じた情報について、十分に情報を得られましたか。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

	十分得られた	ある程度得られた	あまり得られなかった	ほとんど得られなかった
緊急事態宣言やまん延防止等重点措置 (新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置) に関する情報	0	0	0	0
現在の感染状況	0	0	0	0
各種支援策	0	0	0	0
各種相談窓口	0	0	0	0
基本的な感染対策	0	0	0	0
無料検査に関する情報	0	0	0	0
ワクチンに関する情報	0	0	0	0
体調不良時の対応に関する情報	0	0	0	0
多言語での各種情報提供	0	0	0	0
その他【[Q6]のその他FAの入力値(10)】	0	0	0	0



Q7. コロナ禍において、政府の新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト(corona.go.jp)や新型コロナウ イルス感染症等対策推進室のSNSを通じて、以下の情報を提供していましたが、有用な情報はありました か。		
(いくつでも) [必須]		
□ 緊急事態宣言等の新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく措置に関する情報		
□現在の感染状況		
□ 各種支援策		
□ 各種相談窓口		
□ 基本的な感染対策		
□ 無料検査に関する情報		
□ ワクチンに関する情報		
□ 体調不良時の対応に関する情報		
□ コロナ関連の各種リンク集		
□ 多言語での各種情報提供		
□その他		
□ 有用な情報は得られなかった		
□ 政府の新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト(corona.go.jp)や新型コロナウイルス感染症等対策推進室の SNS(X、YouTube)にアクセスしていない		

※新型コロナウィルス等感染症対策推進室の誤植



Q8. 有用な情報が得	られないと感じた理由はど	のようなものでしょうか。
(いくつでも)	必須】	
□期待した情報が	無かった	
□知りたい情報が	どこにあるのかわからなか	った
文字量が多くて読みづらかった		
□ 専門用語を使用していて内容が難しかった		
□ イラストが少ないなど親しみにくかった		
こその他		
Q9.		
コロナ禍におい		Eに関する情報収集で困っている人はいましたか。
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ)		<b>Eに関する情報収集で困っている人はいましたか。</b>
コロナ禍におい		<b>Eに関する情報収集で困っている人はいましたか。</b>
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった Q10.		
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった Q10.	【必須】 どのようなことに困ってい	
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった  Q10. 因っている人は (いくつでも)	【必須】 どのようなことに困ってい	nましたか。
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった <b>Q10. 困っている人は</b> (いくつでも) □ 日本語以外で	【必須】 どのようなことに困ってい 【必須】	<b>いましたか。</b> きなかったこと
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった  Q10. <b>図コている人は</b> (いくつでも) □ 日本語以外での □ 字幕や読み上	【必須】 どのようなことに困ってい 【必須】	<b>いましたか。</b> きなかったこと
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった <b>Q10. 困っている人は</b> (いくつでも) ○ 日本語以外で ○ 字幕や読み上 ○ インターネッ	【必須】 どのようなことに困ってい 【必須】	<b>いましたか。</b> きなかったこと く、理解できなかったこと 情報を探すのが難しかったこと
<b>コロナ禍におい</b> (ひとつだけ) ○ いた ○ いなかった <b>Q10. 困っている人は</b> (いくつでも) □ 日本語以外での □ 字幕や読み上の □ インターネッ □ 誤った情報も	【必須】  どのようなことに困ってい 【必須】  の情報提供が少なく、理解で  「機能などのある情報が少な  、情報が多く、自分の欲しい	<b>いましたか。</b> きなかったこと く、理解できなかったこと 情報を探すのが難しかったこと



### 新たな感染症危機への対策等について

Q11. 感染症危機に対する認識を深めるためには、どのような対策が有効だと思いますか。
(いくつでも)【必須】
□ 学校での教育を通じた普及啓発
□ 会社など職場での研修の機会を通じた普及啓発
□ 地域での勉強会や講習会の機会を通じた普及啓発
□ SNSを通じた普及啓発
□ 国・地方自治体による感染症の常設サイトを通じた普及啓発
□ 専門機関による感染症の常設サイトを通じた普及啓発
□ ポスターや新聞広告等を通じた普及啓発
□ 感染症対策の訓練の実施
□ シンポジウムやワークショップを通じた普及啓発
□ 感染症について気軽に質問・相談できる窓口の活用
□ 医療機関による普及啓発や相談
□その他



#### Q12.

2023年9月、わが国の感染症危機管理対策の司令塔機能として、内閣感染症危機管理統括庁が設置されました。あなたは、統括庁について知っていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 内閣感染症危機管理統括庁について、初めて聞いた
- 内閣感染症危機管理統括庁について、名前は知っている
- 内閣感染症危機管理統括庁について、名前を知っていて、感染症危機管理対策の司令塔機能を果たす役割を担っている ることも知っている

#### Q13.

あなた自身は、感染症に備えて、どのようなことをしておこうと思いますか。

(いくつでも) 【必須】
 普段から手指衛生を行う
 換気に気をつける
 感染症についての基本的な知識を持っておく
 体調が悪いときには仕事(学校)を休む
 ワクチンを定期的に接種する
 家族や職場の人と感染症対策について話し合っておく
 マスクを常備しておく
 解熱鎮痛剤などを常備しておく
 食料品や生活用品を常備しておく
 その他

□ 特段、備えておこうと思わない



図14. 感染症に限らず、通常の情報収集に関する質問です。 普段、週に1回以上(※)情報収集している情報媒体はどのようなものですか。 (※)ただし、情報提供自体の頻度が週に1回もない場合(例えば、「地方自治体からのお知らせ(自治体 からの広報誌や防災無線等)」、「町内会からのお知らせ(回覧板・掲示板等)」等)は、必ずしもこの頻 度に限りません。			
(いくつでも) 【必須】			
☐ X(I⊟Twitter)	☐ Wikipedia		
☐ YouTube	□ その他のウェブページ		
Facebook	□ NHK		
☐ Instagram	□ 民放テレビ		
LINE	□ ラジオ		
note	□ 新聞(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)		
☐ Yahoo!	□ 雑誌(紙媒体に加えて、WEB上の記事や専用アプリも含む)		
Google	□海外の報道機関		
□ 動画配信サービス (Netflix、ニコニコ動画など)	□ 地方自治体からのお知らせ(自治体からの広報誌や防災無線等)		
□ 55ゃんねるや25ゃんねるの掲示板	□ 町内会からのお知らせ(回覧板・掲示板等)		
□ ニュースアプリ(SmartNewsなど)	□家族		
	□ 友人、知人、職場の同僚		
	□ 自分または家族が通学している学校の先生		
	□ 医者や医療機関		
	□その他		
	□ 情報収集している情報媒体はない		



Q15.

普段の身近な情報への関わり方について、あてはまるものを教えてください。

(いくつでも)【必須】
 □ 十分な証拠が含まれているか確認する
 □ 1つだけでなく、複数の情報を確認する
 □ 情報源を確認し、書いた人の所属・資格や専門的能力を確認する
 □ 幅広い視点で情報を集める
 □ 自分と違う意見についても調べる
 □ ウマい話を聞いたら疑ってかかる
 □ いつの情報なのか、日時を確認する
 □ よいと思う情報はすぐに共有・拡散する
 □ 広告や商業目的のための情報ではないか確認する
 □ その他

### 全体に関する自由なご意見

Q16.

最後に、これまでの新型コロナウイルス感染症について、またこれからの感染症危機全体について、ご自由 に意見をお書き下さい。

【必須】

# 未来を問い続け、変革を先駆ける

